

会 議 録

1 会議名

平成27年度第2回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・地域活動支援事業について（公開）

① 提案者による提案説明、質疑応答

② 委員協議・採決

・追加募集の実施について（公開）

3 開催日時

平成27年5月25日（月）午後1時30分から午後2時41分まで

4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 熊木敏夫（会長）、青木ユキ子（副会長）、秋山千恵子（副会長）、
市川 禅、大原久雄、樺沢早苗、木澤 勝、黒河 薫、澤田勝也、
高橋秀樹、豊岡美恵子、中川 清、野島賢一、藤田明仁、松田鉄男、
宮澤義幸（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

8 発言の内容

【関川センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【熊木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：野島委員、藤田委員に依頼
- ・議題【協議事項】地域活動支援事業について、事務局に説明を求める。

【荒木係長】

資料「平成27年度 有田区地域活動支援事業提案書受付一覧（担当課所見あり）」に基づき説明

【熊木会長】

これから各団体の提案者から趣旨説明を求める。

「No.1 有田地区の各地に点在する歴史的遺産を調査・活用・保存する事業」について、提案者に説明をお願いする。

【提案No.1 有田地区の各地に点在する歴史的遺産を調査・活用・保存する事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者に質問等がないか確認

【中川委員】

春日新田の馬市は、少し調べてみると宝暦14年に春日新田の地に又左衛門という人が秋田県から馬を買ってきたのが始まりである。その当時、北海道、青森、岩手、福島から馬を買って馬市を約200年やった。終わったのが昭和18年で、全盛期には1,200頭を捌いた。そういう歴史的な背景がある。今の地方創生にも通じて非常に関係深いと思うから、ぜひやっていただきたい。

【熊木会長】

- ・他に質問等はなく、提案者に退席していただく。

— 提案者退席 —

次に「No.2 有田区全域防災訓練（防災用テントの配備）事業」について、提案者に説明を求める。

【提案No.2 有田区全域防災訓練（防災用テントの配備）事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

- ・提案者に質問等はなく、提案者に退席していただく。

— 提案者退席 —

次に「No.3 有田こどもフェスタ事業」について、提案者に説明をお願いする。

【No.3 有田こどもフェスタ事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

・提案者に質問等はなく、提案者に退席していただく。

— 提案者退席 —

次に「No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」について、提案者に説明を求める。

【提案No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者に質問等がないか確認

【中川委員】

教育要覧というのは、学校ごとに作っている要覧と何が違うのか。

【提案No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

直江津東地域学園版ということで、5つの各学校を合体したものである。各学校で作っているものとは違う。

【中川委員】

中身はどのようになっているのか。

【提案No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

昨年作成した冊子は、児童生徒がいるご家庭に配布させていただいているのだが、1、2ページは直東学園について、3ページ以降は各学校のグラウンドデザインと特色のある教育活動を見開きで2ページ分編集してある。最後のほうには、直江津東地域学園運営協議会の役員名簿が掲載されている。これを見ていただいて各学校の特色だとか、他の学校の特色が分かるような冊子になっている。

【中川委員】

昨年、配布された要覧を見て見ないと分からない。

(事務局から各委員に平成26年度教育要覧を参考回覧)

【熊木会長】

どれくらいの範囲で配布したのか。

【提案No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

昨年度、2,000部作成して児童生徒がいるご家庭に配布している。

【木澤委員】

これは、継続的に毎年行うのか。

【提案No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

学園要覧については、毎年作成する予定である。教育ハンドブックについては、今年度で全学年に行き渡るため、来年度以降は新1年生のみの作成部数になる。

【木澤委員】

私たちが心配しているのは、地域活動支援事業の助成金が打ち切られる可能性があることから、その時の対応はどのように考えておられるか。

【提案No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

各学校後援会やPTAの方々や地域の方々には、地域活動支援事業費補助制度がなくなった時に対応出来るような財政措置をお願いしている。ただ、補助金制度がある間は提案させていただきたい。

【熊木会長】

・他に質問等はなく、続いて「No.6 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」について、提案者に説明をお願いします。

【提案No.6 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

・提案者に質問等はなく、提案者に退席していただく。

— 提案者退席 —

次に「No.5 有田地区体育・レクリエーション協会事業」について、提案者に説明をお願いします。

【提案No.5 有田地区体育・レクリエーション協会事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

・提案者に質問等はなく、提案者に退席していただく。

— 提案者退席 —

次に「No.7 第6回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業」について、提案者

に説明をお願いする。

【提案No.7 第6回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者に質問等がないか確認

【青木副会長】

予算の中に「ソーラーライト」とあるが、これは1年間しか使わないのか。

【提案No.7 第6回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

数年前に地域活動支援事業で購入させていただいたが、ソーラーライトは、花壇コンテストの時に使用するだけではなく、夕方にウォーキングされる方もおられるため、11月くらいまで常時置いておく予定である。人通りも激しく、野晒しで使用できなくなったため、今回、再度購入させていただき、数年は使っていきたい。

【青木副会長】

今回、全部入れ替えというふうに解釈させてもらってもいいのか。

【提案No.7 第6回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

昨年確認した中では、ほぼ駄目になっていたため、全て更新する予定である。

【青木副会長】

了承した。

【熊木会長】

・他に質問等はなく、提案者に退席していただく。

— 提案者退席 —

次に「No.8 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町、松村新田、12町内伝統行事活性化事業」について、提案者に説明をお願いする。

【提案No.8 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町、松村新田、12町内伝統行事活性化事業提案者】

提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者に質問等がないか確認

【中川委員】

太鼓は地元にある仏壇店に頼むのか。

【提案No.8 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町、松村新田、12町内伝統行事活性化事業提案者】

確認したら、京都のほうに発注しているようである。全国に何か所かメインの工場があると聞いている。

金額が高いものと安いものの耐用年数はほとんど変わらないようである。今回提案したものは材質がFRPで金額が安いほうで、耐用年数的には優れている。このことから、高い物を買って何年か後に入れ替えるよりも、これくらいの値段が適当であると考えている。

【松田委員】

提灯だが、これは消耗品だと思う。どこの屋台にも付いているため、他の町内でも欲しいと言ってくるのではないか。

【提案No.8 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町、松村新田、12町内伝統行事活性化事業提案者】

これは、屋台組合を通して、各町内に一番欲しい物を確認してもらっている。他の所も壊れている所はあると思うが、これは、各町内からの要望に整合した個数である。

【熊木会長】

提灯に関しては、安江は5年くらい使用できるようにビニール掛けをすることとしている。

【松田委員】

了承した。

【熊木会長】

- ・他に質問等はなく、提案者に退席していただく。
- ・提案者による説明が終了したため、委員協議に入る。

全体を通して、何か意見はあるか。

【中川委員】

No.1の提案の件であるが、調査する有田区の歴史的遺産は、小猿屋のものが多いようだが、「笠松宗謙」自体はよく分からない。

【松田委員】

「笠松宗謙」の身内の方が東京におられて、その方が今までの経過を本にしたものが小猿屋小学校にある。

【木澤委員】

今年、馬市の絵や写真等が風化してしまっているため、まずは緊急的に保存を行う。
2年次以降は、馬市だけではなく、有田区全体の歴史を見直そうということになった。
「笠松宗謙」については小猿屋地区ではあるが、有田地区全体としてこれから考えてい
かなくてはいけないのではないかとということで、今回の提案に至ったと聞いている。

【松田委員】

馬市の絵や写真の原本を作ろうという考え方でいいのか。

【木澤委員】

原本は劣化を防ぐために保存して、原本を写真に撮ったもの展示しようという趣旨で
あると聞いている。

【熊木会長】

・他に意見等はなく、採択協議に移る。

「No.1 有田地区の各地に点在する歴史的遺産を調査・活用・保存する事業」につい
て、賛成される方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.2 有田地区全域防災訓練（防災用テントの配備）事業」について、賛成さ
れる方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.3 有田こどもフェスタ事業」について、賛成される方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.4 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」について、賛成される方は
挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.5 有田地区体育・レクリエーション協会事業」について、賛成される方は
挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.6 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」について、賛成される方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.7 第6回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業」について、賛成される方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.8 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町、松村新田12町内伝統行事活性化事業」について、賛成される方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

以上で採択審議を終了する。

- ・追加募集について、事務局に説明を求める。

【荒木係長】

- ・募集金額に残額が生じているため、追加募集を行うか委員協議を求める。

【熊木会長】

- ・追加募集を行うか協議
(協議の結果、追加募集を行うことに決定)

【荒木係長】

- ・追加募集期間について提案
(事務局案：7月1日から15日までを提案)

【熊木会長】

- ・事務局の説明に対し意見を求めるがなし
- ・追加募集期間：7月1日から15日に決定
- ・次回協議会について事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回の協議事項について説明
- ・次回協議会日程について、委員協議を依頼

【熊木会長】

・次回協議会：6月22日（月）13：30～

（後日、延期が決定した。開催日は未定）

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。